



# 大磯 議会だより

第1号創刊当時の題字より



素心のなかまの作品（関連記事20ページ）

## 3月定例会（2月16日～3月17日）

- 平成28年度予算を可決…………… 2～6
- 工事請負契約2件を可決…………… 7
- 例年になく多数の条例を可決…………… 8～10
- 11人が一般質問……………12～17
- 陳情審査・意見書を国へ提出…………… 18

## 議会活動

- 県内初!! 議会「特別表彰」を受賞……19
- 行政視察及び議員研修報告…………… 19
- 議会報告会(5月14日)にご参加ください…………… 20
- 表紙の題字を募集…………… 20

# 平成28年度予算を可決

大磯の創生をめざす 子育て・教育・健康・観光に力点

平成28年度予算歳入歳出額  
総額約202億4,100万円 (3.4%)

○一般会計	101億2,500万円 ( 4.8%)
○特別会計	
国民健康保険事業	45億3,200万円 ( 0.4%)
後期高齢者医療	8億5,200万円 ( 10.4%)
介護保険事業	29億6,900万円 ( 1.9%)
下水道事業	17億6,300万円 ( 2.4%)

※1万円未満は四捨五入 ( ) は対前年度伸び率



予算案を提案する中崎町長

## 町長の施政方針 (抜粋)

町の最上位計画である第四次総合計画後期基本計画がスタートする年で、

今後5年間で取組むべき重点プロジェクトに「花鳥風輪」と名付けた。

2月16日、平成28年度予算案の提案にかえて施政方針演説が行われた。

平成28年度は4つの重点事項として「子育て」「教育」「健康」「観光」に

力点を置き、相互に連携し施策につなげていくことで、『大磯の創生』をめざす。

### 子育て

子育てで選ばれる町となるよう、環境整備として、妊婦健康診査費用補助の増額、保育所等の第2子以降の利用者負担を無料とする。

また、5歳児健診の試行実施、認定こども園での病後児保育や、朝の子ども居場所づくり等で、

働きながら子育てができる支援策を行っていく。

### 教育

昨年11月に策定した町の教育大綱の基本理念「いのち」と「こころ」を輝かせる、子どもたちの知力、体力、共感力を育む教育をめざす。

そのためには、教職員の指導力向上に努め、給食を「食育」の場としてとらえ、9年間の義務教

育において、健やかな体づくり、体力強化につなげていく。

### 健康

健康寿命の延伸をめざし、「おあしす24健康おおいぞ」では、専門家等と連携し、高齢者の運動機能低下防止、認知症予防を充実させていく。

また、子どもの体力向上のために、幼児期からスポーツ活動に親しむ機会をつくる。健康、食、スポーツの3分野を一体

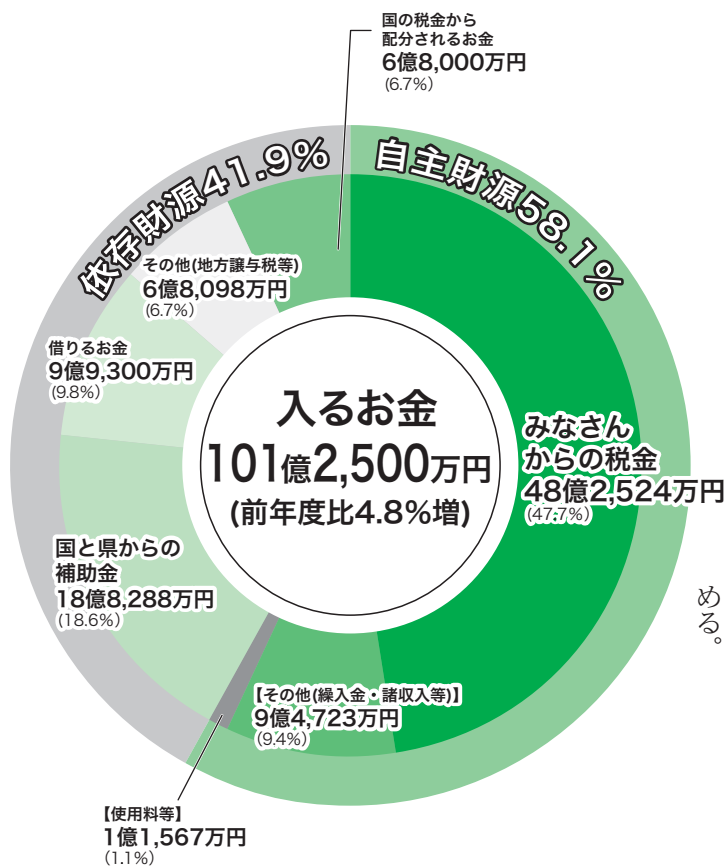
的に推進する計画策定を進める。

### 観光

邸園文化や自然などの地域資源を守りつつ、大磯の魅力の創出を図る。大磯ブランド戦略によるPRを行い、大磯港みなどオアシス整備事業構想を策定し、賑わい交流施設の整備を進める。

郷土資料館をリニューアルし、旧吉田茂邸がオープンすることで、観光文化の交流拠点として進める。

## 一般会計の構成





# 施政方針に対する総括質疑

3名の議員から9問（文責は本人）

## 主な質疑

柴崎 茂議員

### 大磯町は持続可能か

問 中崎町長は、持続可能な大磯をめざすと言いつながら、やっていることは町長の給与を倍にし、バブル最盛期の平成2年頃の町長給与よりも多くしている。一方で、町債残高も平成29・30年には、180億円にまで積み上げ、債務削減の方法など何も示されない。「何事にも情熱を持ち」などきれいな事を並べながら、やっていることはプロポーザルと言いつ、実際は随契の山。一体全体、大磯町民からどこまでしゃぶりつくせば気がすむのか。

町長 1期目の4年で町長としての責務の重要性や仕事の困難、複雑性を理解できるようになった。

2期目は給与をもとに戻した中で、職を全うすることが妥当という考えになり、2期目にはそれを公約としなかった。

坂田よう子議員

「交流人口の増加と定住人口の安定化」を目指す

問 第四次総合計画の重点プロジェクト「交流人口の増加と定住人口の安定化」に沿った予算か。

町長 計画期間内に重点的に取組むべき四つの事項を「花鳥風輪」と名づけ、重点プロジェクト実現を目指す。

問 総合計画に加え、「人口ビジョン・総合戦略」「行政経営プラン」「まちづくり基本計画」が一齐に始動する。それにより町が抱える多くの課題を解決しえるか。

町長 厳しい財政状況を

克服し次世代へ引き継ぐための土地利用を図ることと大磯の創生を行う。

問 観光は、「交流人口の増加と定住人口の安定化」を視野に、町民が発信する大磯の魅力を基本とすべきだが。

町長 重点プロジェクトにつなげていく。

鈴木京子議員

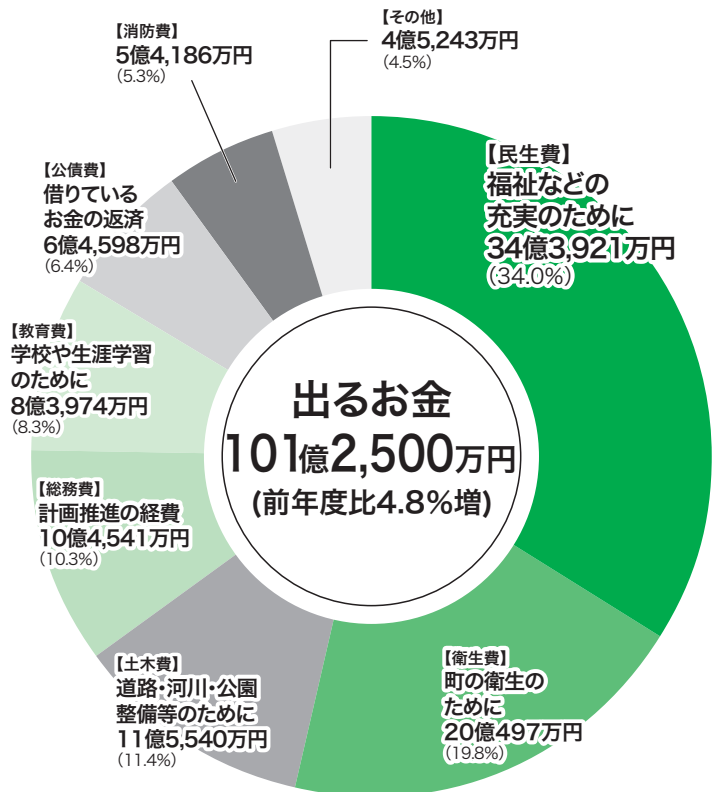
「町民に痛みを伴う」  
具体的内容は

問 町長は施政方針の中で「事業の見直しや廃止もあり得る。町民の皆さんには痛みを伴うこともあるのかと思う。」と述べたが、具体的な内容は。

町長 限られた財源と職員数で行政サービスを実施するため、PDCAサイクルによる検証や行政評価を行っている。その中で思い切った実

施方法の見直しや廃止を  
決断する事業も出てくる  
と考えている。

## 平成28年度



### 用語解説

#### ※1 プロポーザル

企画・提案の意味。参加希望者を募り、複数の者に目的物に対する企画を提案してもらい、その中から優れた提案を行った者を選定すること。

#### ※2 随契（随意契約）

競争入札によらずに任意で決定した相手と契約を締結すること。

#### ※3 PDCAサイクル

事業活動において管理業務を円滑に進める手法の一つ。Plan（計画）→ Do（実行）→ Check（評価）→ Act（改善）の4段階を繰り返すことにより、業務を継続的に改善すること。

# 予算特別委員会での主な質疑

4日間で延67人・202問

## 再生エネルギー等推進事業

問 事業の内容は。

答 平成27年4月1日に大磯町省エネルギー及び再生可能エネルギー及び再生可能エネルギー利用の推進に関する条例が施行され、平成27年度中にガイドライン及び行動プランの策定を行う。平成28年度は行動プランを環境基本計画の実施計画に盛り込んだ中で進行管理を行っていく。

## 旧吉田茂邸の管理運営

問 旧吉田茂邸が1年後にオープンするが、今後の管理運営方針は。

答 開館時は、博物館施設として、当面は直営で郷土資料館と一体管理していく。平成28年度は、町が旧吉田茂邸をどう活用できるのか、考え進めていきたい。

## 個人町民税

問 前年度より増となった理由は。また、今後の見通しは。

答 高額所得者層における所得の増、株式市場を反映した株式譲渡所得が増えるの見込み増とした。労働人口の減少により毎年下がっており、景気の回復、次世代の方の定任がなければ減少していく。



今回から予算審査に先立ち、現地確認を実施

## 特別会計への繰出金

問 特別会計への繰出金が前年度対比で伸率6.7%となっている。今後の方向性は。

答 特に国民健康保険では、保険税の軽減など制度の拡充が行われており、平成30年度から県が保険者となる制度改正も控えている。そのためにも保険税収入の確保が必要と考える。

## 公共施設再編

問 公共施設の再編方針を出す中で、本庁舎の施設整備を行う理由は。公共施設等総合管理計画との整合性は。

答 平成28年度中に総合管理計画を策定する。本庁舎も統廃合等の対象となるが、すぐに結論を出すことは難しい。維持管理上、本庁舎に最低限必要な修繕は実施しなければならず、耐震補強を担うプレスの塗装を予算計上した。

問 昨年の決算審査で、議会は公園について事務事業評価を行った。町は予算計上にあたり、その評価内容の検証を行ったか。

## 公園の事務事業評価

答 公園は様々な年代の方が利用される施設で、安全性が第一である。小さな子どもが利用する遊具等は安全点検を行い、修繕料を予算計上した。また、評価結果を受け、砂場の砂の入れ替え費用も計上。



公園の砂場

## 支援教育推進事業

問 小中学校への教育支援員の配置は。

答 教育支援員を、大磯小9名、国府小9名、大磯中3名、国府中4名にそれぞれ配置。特別支援の子どもの対応、学習に遅れがちな子どもや、教育的ニーズに配慮できるように、国府中学校の支援員を1名増員する。

## 社会福祉協議会補助金

問 補助金1千500万円が計上されている。行政ができない地域福祉の部分を受けていただいている。町は社協との関わりを今後どのように考えているか。

答 町が委託している部分以外に、主体的に取り組むを進めている事業もある。町は、町民の福祉のために、町と社協の福祉に対する考え方の刷り合わせをしながら、進めて行きたい。

## 農業用水路整備事業

問 事業の目的・効果は。これまで管理はどのように行っていたのか。

答 西小磯排水路の改修を3カ年計画で570メートル実施する予定で、平成28年度は測量調査や地質調査等を実施し、約100メートル分の改修を行う。

この水路は台風等発生後に災害復旧を繰り返し、水路脇の地盤の浸食や側壁の腐食等も発生しているため、抜本的な対策が急務となっていた。

側壁の腐食



壁面の腐食等が見られる現状



**大磯港みなとオアシス**

**推進事業**

**問** 新規事業だ。北浜海岸でのビーチスポーツ、照ヶ崎海岸のアオバト、ポートハウスするがさきを案内ポイントとし、

交流人口・定住人口の増加に結び付ける事業展開が図られるのか。

**答** 大磯を好きになり、

定住、創業して税金に結びつくような展開を図るには、港は重要な拠点。今後、ポートハウスするがさきに指定管理を導入し、民間事業者のノウハウ、アイデア等で港がにぎわっていくような事業展開を図っていききたい。

**駅前駐輪場**

**問** 使用料2千808万8千

円を見込み、運営費に1千783万5千円を計上。西駐輪場があった時と比較すると、維持費はどのようか。また、東駐輪場の解体費用が予

算にない。町の考えは、

**答** 駐輪場が東西にあつた時の決算額はマイナ

ス約3千万円だったが、平成28年度はプラス約1千万円になると見込んだ。現在、東駐輪場の解体工事の設計委託を行っており、結果次第で予算化していく。

**中学校給食**

**問** 3年間の債務負担行

為で、1億2千446万4千円かかる計算。中学校給食が始まってすでに異物混入などがおきている。町にはしっかりと対応を求めているが、異物混入等の事故があつた場合、教育委員会是对応のフローを作成し、学校と対応方法を共有。異物混入が調理場に原因があると把握した場合、町職員が調理場の状況を確認。状況に応じて、保健福祉事務所にも協力いただく。

**第2子以降は保育料無料**

**問** 平成28年度から第2

子以降は保育料を無料とする。その影響額は、保育園53名分、幼稚園133名分、全体で1千875万2千350円である。

**（仮称）リサイクルセンター整備事業**

**問** 継続費で整備予定だ

が、各年度の工事請負費と設計施工監理委託料の内訳は。

**答** 整備事業にかかる総額は19億7千371万円。

内訳は左表のとおり。

工事請負費と設計施工監理委託料の内訳

年度	工事請負費	設計施工監理委託料	年度ごとの合計
27	5,000万円	—	5,000万円
28	10億9,826万円	3,477万円	11億3,303万円
29	7億6,550万円	2,518万円	7億9,068万円
計	19億1,376万円	5,995万円	19億7,371万円

(1万円以下は四捨五入)

**朝の居場所づくり**

**問** 1月から実施してい

る事業だが、利用者数が少ない。平成28年度に継続するに至った理由は。

**答** 県のモデル事業として年度途中の1月から実施したため、利用に至らなかった方もいる。

4月以降は現在保育園の方等のニーズが増えるの見込み、継続して実施する。今後も利用状況等を確認し、アンケートも実施し、事業の検証をしていく。

**子育て・親育ち支援事業**

**問** 事業の内容は。また、

5歳児健診の内容とは。育児相談、療育相談、就学相談などにかかる相談員、言語聴覚士、保育士等の賃金を計上している。平成28年度は、町立の幼稚園3園と保育園1園の5歳児を対象に、健診を試行的に実施。小学校へ就学できるよう進める。

**消防指令センター共同整備事業**

**問** 事業の内容は。消防

の広域化の意味か。

**答** 平塚市、大磯町、二宮町で消防救急無線及び消防指令センターの共同整備を行うもので、広域化ではない。

**ゴミ出し支援**

**問** 障害者世帯及び高齢

者世帯のゴミ出し支援委託の内容は。

**答** ゴミ出しが困難な障害者3名分、高齢者は30名分を見込んでいる。以前は環境担当の部署で行っていた事業で、要介護2以上の方が利用対象であったが、平成28年度からはゴミ出しが困難な高齢者の方であれば誰でも利用可能である。積極的にPRしていきたい。

**予算特別委員会**

- 委員長 奥津 勝子
- 副委員長 三澤 龍夫
- 委員 坂田よう子
- 委員 竹内恵美子
- 委員 二宮加寿子
- 委員 片野 哲生
- 委員 高橋 英俊
- 委員 渡辺 順子

また、指令室を1カ所に集約し、専任職員を配置、業務の効率化を図る。平成29年4月より運用を開始する。



リサイクルセンター建設予定地(既存施設解体中)

# 予算 討論

予算特別委員会及び  
本会議での討論

全会計予算案は付託先の  
予算特別委員会で審査  
し、本会議最終日に委員  
長報告を行った。全会計  
予算を賛成多数で可決。

## 反対

○ふるさと納税により、  
歳入として50万円見込  
むが、寄附金控除で町  
民税が80万円減収にな  
る。制度自体問題。

## 賛成

○小型動力ポンプ付積載  
車の購入、図書館司書  
の配置を評価し、夏季  
保育、国府祭の調査に  
期待する。

○廃止縮小された事業は、  
ほとんど見当たらず、  
拡大する予算であった。

○第2子以降の保育利用  
者負担の無料化、国府  
幼稚園廃止に伴う認定  
子ども園の整備、母子  
保健事業等が、子育て  
で選ばれる町に結びつ  
くことを期待する。

○一般会計は、リサイク  
ルセンター建設など、  
初めて100億円を超え、  
町債も伸びた。

○スポーツ健康増進計画  
策定事業は、健康寿命  
の延伸となるよう望む  
のエネルギー環境は未来  
の子どもに残せる遺産  
と考え、取組みを期待

○旧吉田茂邸再建で、レ  
プリカ作成などに2千  
900万円近くを計上した。

○高年齢者世帯のごみ出し  
支援はコスト意識と公  
平性を持って進めてほ  
しい。

○中学校給食は、自校方  
式の検討や弁当の選択  
量が足りない生徒への  
対策が必要だ。

○朝の居場所づくり、5  
歳児健診や病後児保育  
の実施、子育て支援充  
実に期待する。

○第2子以降の保育利用  
者の負担を無料にする  
としながら、範囲を限  
定する制度は、持続可  
能とは考えられない。

○約400件ある事務事業は、  
正しい評価を行い、廃  
止する決断も重要。  
○執行に当たっては、議  
会並びに町民の深い理  
解を得ることが重要。

### 年度の最終調整

## 27年度3月補正予算 可決

一般会計 1億8,457万円増額

### 特別会計

国民健康保険事業 5,053万円減額

介護保険事業 5,494万円減額

下水道事業 110万円減額

(1万円以下は四捨五入)

一般会計及び3特別会計すべての  
補正予算は賛成多数で可決

### 主な質疑

**施設介護サービス給付費  
減額など見たことな  
い。6千万円減額して  
町民への影響はあるか。**

**答** 3施設（介護老人福  
祉施設・介護老人保健  
施設・介護療養型施設）  
の利用に発生するサー  
ビス費である。

**情報セキュリティ強化**

**問** 1千520万円の計上で、  
マイナンバー導入に伴  
う情報漏洩の対策を行  
うのか。

**答** 29年7月、マイナン  
バーによる自治体間の  
情報連携がはじまる。  
庁内75台のパソコンに  
ID・パスワードの他に  
生体認証システムを導  
入する等のものである。

**がん検診推進事業**

**問** 委託料が318万4千円  
増えた理由は。

**答** 40歳以上の方が受け  
られる5つのがん検診  
（胃・大腸・肺・乳・  
子宮）と、節目年齢の  
方が受けられる検診の  
いずれも、見込みより  
受診者が増えたため。

**大磯小グラウンド改修**

**問** 学校施設環境改善交  
付金719万2千円が不採  
択となった理由は。

**答** 国は耐震改修等の防  
災に重点配分したため、  
グラウンド改修は不採  
択となった。よって、  
一般財源を充て予定ど  
おり執行する。



大磯小学校グラウンド

# (仮称)大磯町リサイクルセンター 建設工事請負契約を締結

工事請負契約額は、施設整備費分の17億6千40万円(税込み)。平成30年3月31日完成予定。

## 3 施設を整備

①大磯町・二宮町の容器包装プラ、ペットボトルを圧縮梱包処理するリサイクル施設。

②大磯町の可燃ごみを平塚市へ一定量まとめ運搬するための中継施設。

③大磯町の一般廃棄物を搬出するための選別・保管施設。

## D B O方式を採用

設計・施工・運営管理を一体的に行う方式。本事業は、20年間の運営管理を数社で組織するグループ会社が行う。

## 事業者を決定

事業者選定委員会です業の実施方針を決め、公募型プロポーザルを実施。2者からの提案があり、

契約価格

区分	公募価格 (限度額)	提案価格	
		新明和グループ	極東開発グループ
総額	53億2,224万円	47億 340万円	50億5,327万円
内訳	施設整備費	17億6,040万円	15億 120万円
	運営委託費	35億5,644万円	29億4,300万円

(税込み額・1万円以下は四捨五入)

※5ページの(仮称)リサイクルセンター整備事業の表との関係  
5ページの工事請負費19億1,376万円は予算額であり、今回の工事請負契約額17億6,040万円はプロポーザルを実施した結果の契約額。  
なお、5ページの設計施工監理委託料は、今回の工事請負契約には含まれない。

## 主な質疑

問 リサイクル施設部分はいくらか。

答 7億3千400万円。

問 20年間の運営費もセ

ットで契約するが、不測の事態が起こった場合はどうなるか。

答 事業者の事由、町の瑕疵の場合とがあり、それぞれ責任を分担。運営を委託すると従前より削減できるのか。

答 人件費や維持補修費の削減が見込まれる。

## 反対討論

○人口が減るのに過大な施設だ。50億円の根拠もはっきりしない。

○費用も施設規模も過大であり、起債を重ねて償還するのに21年かかる。責任が持てない。

○子どもたちに負担を負わせることになる。

○ごみ処理を民間に丸投げするようなD B O方式は納得できない。

## 賛成討論

○広域化で決まっていること。いたずらに引き延ばすのは良くない。賛成多数で可決

## 国府中学校体育館耐震補強・改修工事 天井の改修工事を追加

昨年10月に開始した本工事に、天井部分の改修工事を追加して行うため、契約金額に96万4千400円を増額し、1億3千708万4千400円に変更する。

木毛板を撤去し、グラスウールボードを新設。工事完了は5月末。

答 全体を目視で確認し、設計図書を作成した。足場を組まなければ見できなかった。調査が十分でなかった。設計段階で屋根を剥がさなかったのは反省点。

問 この事業はいろいろな組織が入ったグループと20年間の契約をする。社会状況の変化で町の意向を変更したいような場合に柔軟に対応できるか心配だ。

答 建設と運搬事業者、運営するS P C (エコセンター大磯)と契約。社会状況の変化で協議する内容になっている。

## 主な質疑

問 設計の仕方について、以前の書類、図面等を参考に目視のみで行ったのか。調査に不備はなかったか。

答 政策総務部長が委員長。耐震診断設計を行った事業者は、随意契約で設計を任せることが合理的と判断した。賛成多数で可決



## 条例改正を可決

3月議会で行った条例改正は、地方公務員法や人事院勧告などに伴うものと、町独自の条例を改正したものがある。

## さざんか荘の浴室有料化

町は2年間にわたり、世代交流センター「さざんか荘」の将来的な運営方法と浴室使用について検討してきた。

このたび、施設の存続と安定した運営を行うため、浴室を有料化する条例改正を行うもの。

4月1日施行。

### 浴室使用について

- 4月から月2回開放。
- 年間収入見込み6万円。
- 衛生管理も含む維持管理費は42万円。
- 施設管理は、町職員とシルバー人材センター。

### 浴室の使用料

大人	町内	1人1回につき	200円
	町外	1人1回につき	300円
子どもまたは障がい者		1人1回につき	100円

賛成多数で可決

○施設の改善については、今後検討する。  
集会室などの使用料

○集会室などの使用料は従来どおり。高齢者団体が使用する場合は無料。

## 反対討論

○利用者が負担するのはそれなりの意味があるが、年間24回開放し、収入が6万円なら、管理を委託するシルバー人材センターの負担にすれば済む話である。

## 行政不服審査制度の改正に伴う対応

行政不服審査法の改正が50年ぶりに行われることにより、行政機関の処分で不利益を受けた者が、行政に対して処分の取り消しなどを求める仕組みが変わる。よって、関連する条例を改正するもの。4月1日から施行。

### 制度改正の内容

- ①異議申立てと審査請求の2本立てだった不服申立てを、「不服申立て」の手続の審査請求に一元化
- ②処分に関与していない職員が、審理員として町民と行政機関の主張を公平に審理する「審理員による審査手続の導入」
- ③有識者で構成する第三者機関が、審理員の判断の妥当性をチェックする「第三者機関（審査会）への諮問手続の新設」

### 関係する町条例の改正

- ・情報公開条例
- ・個人情報保護条例
- ・町職員給与条例
- ・町税条例
- ・固定資産評価審査委員会条例
- ・手数料条例
- ・消防団員等公務災害補償条例

## 反対討論

○審査請求の一元化により、健康被害の認定や補給給付などでは後退する内容である。  
○町民の利益がはっきりしない。  
○処分に関係ない職員が

審理員となるが、独立性が担保されないと公平な判断がされない。  
○小さな自治体にはそぐわない制度である。  
賛成多数で可決

### 県との協議について

町では第3者機関（行政不服審査会）の組織運営を神奈川県へ委託するため、「規約案」を提出。  
賛成多数で可決

## 国府幼稚園の廃止と私立認定こども園の誘致

国府幼稚園を平成30年3月31日に廃止して、たかとり幼稚園と統合し、跡地に私立認定こども園を誘致する準備のために条例を改正する。

平成30年4月1日施行。

### 今後のスケジュール

- 4月 法人募集説明会、公募
- 7月 選考委員会・決定
- 8月 新園舎設計
- 平成29年 建設工事
- 平成30年 完成

## 反対討論

○民営化は賛成だが、平成30年に廃園するならば、まだ条例を変更しないで民営化の幼稚園と価格交渉するほうが良い。このままでは町が譲歩させられることになる。  
賛成多数で可決





# 総合計画審議会の委員数をふやし

## 「スポーツ健康会議」を設置

既存の大磯町※附属機関

設置目的を変更する会議

の委員数及び設置目的を変更し、既存の会議を附属機関として位置付け、委員の報酬及び費用弁償を規定するため条例を改正する。

「大磯町地域公共交通会議」で、地域公共交通網形成計画の作成と実施に関する協議ができるようにする。

委員の報酬は6千500円。

学識経験者は8千400円。

新たに設置する会議

既存の健康増進、食育推進、スポーツ推進の3つの会議を一体的とする

委員数を変更する審議会

「大磯町総合計画審議会」の委員数を「14名以内」から「15名以内」に変更し、現在の委員に含まれていない金融機関とメディアの分野から委員を加え、幅広い意見を聴取る。

「大磯町スポーツ健康会議」を設置して、「大磯町スポーツ健康増進計画」の作成と健康づくりに関する事項を調査審議し、その結果を報告し、意見を建議する。

### 主な質疑

問 附属機関の審議会等はいくつあるのか。

答 附属機関設置条例では町長部局で30、教育委員会部局に3つある。

問 27年度の報酬と費用

弁償は合計いくらか。

答 年当初予算では4千47万9千円である。

問 今回の改正でいくらか増えるか。

答 総合計画審議会では2名増で、会議が2回で2万6千円増える。スポーツ健康会議は4回の会議で、約40万円増となる。

問 新たなメンバーを加えないと総合計画がでないのか。

答 総合計画後期基本計画と、大磯町人口ビジョン・総合戦略の2つを同時に進めるために、新たなメンバーを加える必要がある。

問 総合計画審議会は町の追認機関になっていないか。

答 この審議会だけですべてを決めているわけではなく、幅広い意見を聴いている。

問 地域公共交通網形成計画はいつまでにつく

のか。

答 西小磯の乗合タクシー運行も含め、28年度中につくりたい。

問 新しい道路の新設や今ある道路を拡幅することもあるのか。

答 計画を策定する中で判断するので、新設がないとは答えられない。

### 反対討論

○地域公共交通網形成計画で、新たな道路をつくらぬとは言えない、との答弁だった。これ以上、新しい道路は必要ない。

○総合計画審議会は委員数を増やすより、少数精鋭で十分な議論をしてほしい。

賛成多数で可決

※附属機関とは

執行機関（町長または委員会）に条例によって設置され、その要請により行政執行の前提として必要な審査、審議、調査を行う審議会、委員会などの機関。

## 人事院勧告による職員給与の変更及び勤務表を条例に規定する

○町職員（幼稚園職員を含む）の初任給を2千500円引き上げ、若年層も同程度引き上げる。

○その他職員は1千100円引き上げる。

○一般職の勤勉手当を4.20月とする。

○再任用職員の勤勉手当を2.20月とする。

○特定任期付職員の給与を1千円引き上げる。

### 反対討論

○この5年で借金が30億円も増えている。給与を上げるのは反対。

### 賛成討論

○基準に則って行うことが働く意欲につながる。賛成多数で可決

## 地方公務員法等の改正に伴う条例改正

○人事行政の公表に関する条例事項に、人事評価と退職管理を追加し、勤務成績の評定を削除する。個人ではなく体系的な公表である。

○大磯町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の条項と用語の整理を行う。

○初任給、昇格、昇給等の「等級別基準職務表」を条例に規定する。

○議会議員及び非常勤職員、消防団員等の公務災害補償の基準を0.02ポイント、消防団員等の特殊公務災害補償の基準を0.01ポイント引き上げ、支給額を増やすための条例改正。

賛成多数で可決



# 火災予防条例の一部改正

「対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令」の施行から10年以上が経過し、当初想定していなかった「ガスグリドル付きこんろ」及び「電磁誘導加熱式調理器（IHヒーター）」等が流通してきたことから、安全性確保のため、町条例にこれらの設備を追加する一部改正を行うもの。  
4月1日施行。

## 主な質疑

**問** 規定をすることになったきっかけは火災か。  
**答** 火災や事故は起きていないが、IHについては、大火力のものに変わり、市場に流通される量が増えたため。賛成多数で可決

## 人権擁護委員の推薦に同意

- 曾根 伸子氏 (65歳) 大磯
  - 竹内 清氏 (68歳) 生沢
  - 永楽 和子氏 (64歳) 高麗
  - 佐々木義正氏 (63歳) 東小磯
- ※年齢は提案時のもの

# 旧吉田茂邸再建事業 神奈川県との協定の変更・締結

平成27年度協定の変更  
再建工事を完了に向け、工事費が確定したことにより、事業費総額を減額するとともに、平成27年4月1日に締結した平成27年度負担額を減額する協定変更を行うもの。

## 主な質疑

**問** 建築費高騰の中、安くなった理由は。  
**答** 平成23年度当初に考えていた復元工事ができないことが平成26・27年度に判明した。また、資材や人件費の高騰、消費税の値上げがあり、金額を調整した経過があるが、今回はその後の変更である。

平成28年度協定の締結  
平成28年度の事業費負担額等を1億7千423万3千680円とするもの。

## 主な質疑

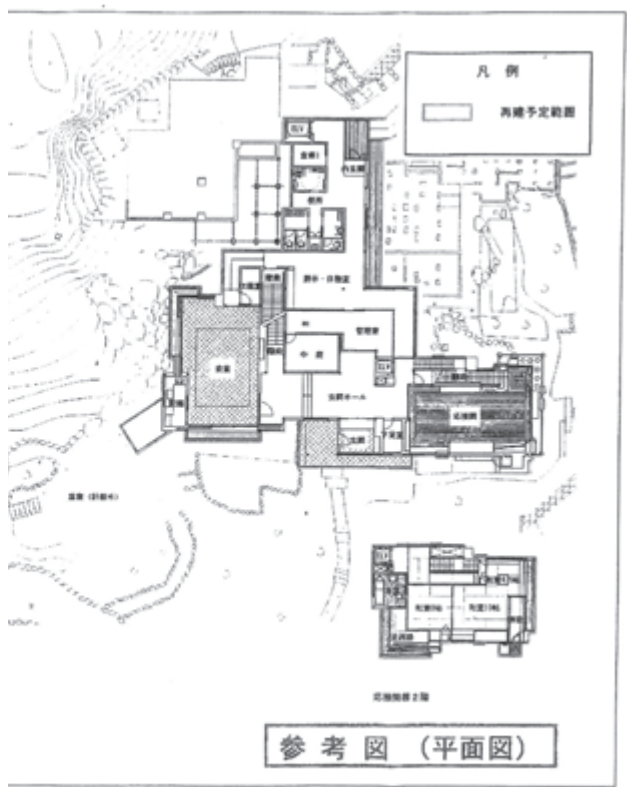
**問** 再建工事を担当する県の部署で汚職をやった者がいることを把握していたか。吉田邸がその舞台になっていないと言えるのか。  
**答** 把握していない。吉田邸が関わっていないか確認をする。

## 反対討論

**答** 平面図は協定書の参考図。博物館施設のため、消防法に基づき図面は出しているが、現地調査後、必要であれば改善するという意味。  
○汚職をやった部署も把握しておらず、町は当事者性がない。協定は結ばない方がいい。いずれも賛成多数で可決

## 事業費総額と年度ごとの負担額

事業費総額	508,809,680円	
負担金	平成26年度	60,052,000円
	平成27年度	274,524,000円
	平成28年度	174,233,680円



※上記は、今後の詳細検討において、技術的・法令的な面から変更する可能性がある。



# 賛否結果

議案番号	議案	議員名（議席順）													結果	掲載ページ番号	
		坂田よこ子	竹内恵美子	関威國	三澤龍夫	奥津勝子	二宮加寿子	清田文雄	玉虫志保美	片野哲生	高橋英俊	鈴木京子	渡辺順子	柴崎茂			吉川重雄
1	大磯町附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	●	●	—	可決	9
2	大磯町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	—	可決	
3	大磯町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	可決	
4	大磯町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	可決	
5	大磯町立幼稚園の教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	可決	
6	大磯町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	可決	
7	行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決	8
8	大磯町世代交流センターさざんか荘条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決	
9	大磯町火災予防条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決	10
10	大磯町立の中学校等の設置に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決	8
11	工事請負契約の変更について (国府中学校体育館耐震補強・改修工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決	7
12	大磯町と神奈川県との間の行政不服審査会の事務の委託に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決	8
諮問1	人権擁護委員の候補者を推薦することについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	異議ない 旨答申	10
諮問2	人権擁護委員の候補者を推薦することについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	異議ない 旨答申	
諮問3	人権擁護委員の候補者を推薦することについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	異議ない 旨答申	
諮問4	人権擁護委員の候補者を推薦することについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	異議ない 旨答申	
13	平成27年度大磯町一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決	6
14	平成27年度大磯町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決	
15	平成27年度大磯町介護保険事業特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決	
16	平成27年度大磯町下水道事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決	
17	平成28年度大磯町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決	2 6
18	平成28年度大磯町国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決	
19	平成28年度大磯町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決	
20	平成28年度大磯町介護保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決	
21	平成28年度大磯町下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決	
22	大磯町議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例及び大磯町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決	9
23	工事請負契約の締結について (仮称)大磯町リサイクルセンター建設工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決	7
24	旧吉田茂邸再建事業に関する協定の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決	10
25	旧吉田茂邸再建事業に関する協定の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決	
諮議案第1号	精神障害者の交通運賃割引制度適用を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決	18

○は賛成 ●は反対 —は議長が賛否に加わっていない

# 町政のここが聞きたい

## 一般質問

一般質問は、2月25日・26日に11人の議員から19問ありました。

質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

詳細は会議録・ホームページ・DVD（図書館貸出）をご利用ください。

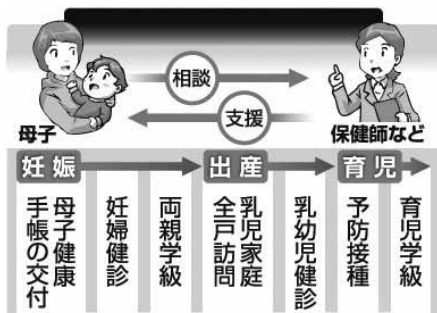
【文責は本人】

### 次世代の学校・地域創世プラン チーム学校の実現で質の高い教育を

答 学校と地域が一体となった取組み  
28年度から5年間を対象に明示

**問** 「次世代の学校・地域」創世プランについて、「チーム学校」とは、学校指導の充実やいじめや貧困など多くの課題に対応するため、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー、部活動指導員を配置し、教員の負担軽減や質の高い教育を目指すものとするが、**教育長** 文部科学省は、学校と地域が相互に関わり合い、28年度から5年間に取組むべき施策や工程表を明示した。創世プランでは、地域と学校の連携・協働に向けた改革、学校の組織運営改革、教育制度の一体的改革が示された。具体的な施策として、学校に係る観点からは、地域と共に学校づくりを

進めるコミュニケーションの推進、教員と様々な分野の専門性が連携する「チーム学校」の実現、教員の養成・採用・研修の一体改革が示された。また、地域に係る観点からは、地域全体で学び合い、子どもたちの成長を支え合う地域をつくる活動（地域学校協働活動）の推進、地域が学校のパートナーとして子どもの教育に関わる体制の整備、地域と連携・協働する教員の養成及び研修が次世代の学校・地域の再生に向けた具体的な施策として盛り込まれた。**問** チーム学校の考えは。**教育長** チームとしての学校を実現する



産前・産後ケアの切れ目のないネウボラ支援  
※ネウボラとは、フィンランド語で「助言の場」

○産前・産後ケアの提供  
**その他の質問** している。



二宮加寿子



## いつまでも修繕されない 街路時計はどうするのか

**答** 所有者から3月31日までに撤去すると回答あり

**問** いつまでも修繕されない街路時計は、ジョンソン社が昭和47年7月に本社・工場を大磯町に移転した記念に、国府地区に寄贈された。ジョンソン社が転出後は地元企業に時計の所有と維持管理を移管した。その後、時

を刻まなくなり寂しい町のシンボルになっている。住民からも指摘されているが、町は修繕するのか。  
**町長** 現在、5箇所のうち3箇所の時計が故障しており、故障中の張り紙をして見えなくしている。所有者に適切な維持管理を指導しているが、古いため修理が難しく、新設は費用がかかるため、今年度中に撤去したいとの意向を確認した。

**問** 企業名付きの街路時計

計が故障している場合の道路占用許可の扱いは。  
**答** 規則に則り占用許可をしており、占有者には時計の機能を回復するか、撤去することで指導してきた。  
**問** 国府小学生が登下校時に見ている。月京歩道橋前の時計パネルには「登下校の時間を守りましょう」と書いてあるが、管理が伴っていない。この状態を教育部長はどう考えるか。  
**答** 学校から報告があり、所有者、管理者に修繕要望をした経過がある。



故障中の街路時計 (3箇所)



関 威國

障中である。オープンに向け、産業環境部長はこれで良いと思うのか。  
**答** 時計の機能をしていないものは、景観的にも撤去した方が良いと思う。

**問** 所有者から今年度中に撤去すると回答されたが、今年度中とはいつか。  
**答** 平成28年3月31日までに撤去を行うと、占有者から聞いている。

## 町の農業政策は現状のままが良いのか

**答** 農業振興地域整備計画基礎調査 農道及び水路の基盤整備実施

**問** 町の農業政策は現状のままが良いのか。  
中崎町長が就任してから5年が経過した。この間、農業政策は従前からの流れが続く、今日まで変化のないまま行われている。町の将来の農業に明るい光が見えて来ないと感じる。大磯町も少子高齢化が進み、専業農業従事者の多くが高齢者である。その結果、荒廃農地が拡大し、イノシシ等が耕作農地に出没することにより、被害は増加の一途をたどり、ミカン畑、野菜畑、田んぼの稲作も減少し、荒れ放題になっている。

**問** 町の農業政策と農業の実態を町長はどう認識し、どのように把握しているか。  
**町長** 農地情報の提供、利用権設定などによる新規就農者への支援に努め、遊休農地での市民農園の実施やマコモダケの栽培を実施。地方創生のモデルとして、国・県との連携、協力を求め、農業の今後の展望に効果的、具体的な農業政策ビジョン策定を考える。

また、この先の農業政策に明るい光をあてるべきと考える。そこで、今まで、現在、そして今後

**問** 将来の町の農業政策として、平成28年度及びその後の農業政策の見解は。  
**町長** 28年度に農家への意向調査、農用



片野哲生

の観点から、町長の農業政策に対し見解を伺う。過去5年と現在の町の農業政策と農業の実態を町長はどう認識し、どのように把握しているか。  
**町長** 農地情報の提供、利用権設定などによる新規就農者への支援に努め、遊休農地での市民農園の実施やマコモダケの栽培を実施。地方創生のモデルとして、国・県との連携、協力を求め、農業の今後の展望に効果的、具体的な農業政策ビジョン策定を考える。



改修予定の西小磯農業水路

# 国道1号、大磯駅入口交差点の横断歩道設置要望の経過は

**答** 関係者と現場確認し、5件を神奈川県警に要望する

**問** 第9次大磯町交通安全全計画の現状と、現在の計画を総括し、次の計画をどう作成していくのか。

**町長** 第9次の計画は、昭和45年制定の交通安全対策基本法に基づき、町や関係機関が実施する施策の大綱を定めた計画で、平成23年度から27年度までの5カ年計画である。

県の第10次神奈川県交通安全計画が平成28年4月に決定する見込みで、町はその計画に基づき策定作業を進める。町の現状は65歳以上の高齢化率が32.4%で高齢者がかかわる交通事故の増加を予想、この動向を注視していく。

**問** 国道1号の大磯駅入口交差点、横断歩道設置要望の経過は。

**答** 平成26年度内は、庁



高橋英俊

内での実現に向け協議を進めた。27年8月、大磯警察と協議を開始。9月には町民課で交通量の確認を行い、28年1月に4地区長、県警の機関、大磯警察署、学校関係者と現場確認し、5件の要望がまとまった。

**問** 5件の要望の内容は。

**答** 緊急要望として3点、大磯駅入口交差点海側、国道1号下り路線に横断歩道の新設、交差点のスクランブル化、歩道橋を再点検し公表。

長期的要望として平塚方面から左折する大型車の規制、スクランブル化ののち歩道橋を撤去というもの。緊急



大磯駅入口交差点

# 大磯駅発車メロディ変更についてを問う

**答** さまざまなご意見がある。それを踏まえ、導入すべきと考える

**問** 大磯駅の発車メロディ変更についてを問う。

**町長** JR東海道線駅の発車メロディが、その市、町の特徴を表した曲で流れている。平塚市が「たなばたさま」、二宮町も菜の花で観光者と呼ぶ期間ということ、「朧月夜」という曲が1月9日から流れている。

町民の方から、「茅ヶ崎、平塚、二宮と発車メロディが流れる中、文化の町、大磯町にないのは、とても寂しい思いがする」との電話をいただいた。大磯町も、日本で最初の海水浴場開設の地にちなんで、「われは海の子」のメロディに変更するかどうか。という考えはいかがか。

**町長** 駅の発車メロディについては、ご当地ソングに変更していく動きが90年代から広まっている。町のイメージをどのように伝えていくかは、非常に大きな問題である。駅の開業記念日、自治体の施行記念日など、節目の年を記念して導入している駅も多々ある。



奥津勝子

「われは海の子」の提案は、湘南発祥の地であり海水浴発祥の地である大磯のイメージに合っている。観光振興や、大磯町への、さらなる愛着へつながる取組みの一つになると思う。

さまざまなご意見がある。それを踏まえ、導入すべきと考える。

**マイナンバー制度**

**問** 1月よりマイナンバー制度での事務が開始された。昨年11月に通知カードが来て、すぐにマイナンバーカードをネットで申請したが2月に入っても音沙汰がないという。手続きにかかる時間は。

**答** 受け取り、受け渡しまで、現段階で、およそ3カ月から4カ月かかる。

## 駅の発車メロディー ~ご当地ソング~

1990年代後半から、広まりを見せる

- 平塚市 「たなばたまつり」
- 茅ヶ崎市 「希望の轍」
- 小田原市 「おさるのかごや」
- 二宮町 「朧月夜」



# 一人あたりの中学校給食の経費は 小学校を1とするとどうなるか

答 約2になる

問 中学校給食について、町民の声をどう受け止め対応するのか。

教育長 中学校給食の必要性について議論し、約8割の方が賛成、どちらかといえば賛成と回答。

今回導入した調理・配送委託方式の給食では、当初から適温でのおかずの提供ができない、量の調整が難しい等の課題は想定されていた。

今後さまざまな課題が想定されるので、より親しまれる給食にしたい。

問 1食あたりの費用は。

答 税込で257円、材料費込みで593円となる。

問 一人あたりの経費を小学校を1とすると、中学校はどうなるか。

答 約2になる。

問 異物混入はどんなも

のがあったのか。

答 残念ながら髪の毛、繊維状のもの、プラスチック片があった。

問 量が足りないために家庭から弁当を持っていくが、給食と一緒に食べ

ることは禁止されているため、隠れて食べざるを

えないと聞く。どう対応

するのか。

答 万一の食中毒等に対応するため禁止している。おかわり用ご飯の数を2個から3個に増やした。来年早々に対応したい。



鈴木京子

問 来年度、早々には解決を図りたい。

答 予算の関係上おなかをすかせてすみませんというのには絶対許せない。

業者とは3年間契約。自校方式はやる気になればできる。生徒たちの声は尊重してほしいが。

問 生徒会の活動については、意見を聴取し参考

にしたい。

答 万一の食中毒等に対応するため禁止している。おかわり用ご飯の数を2個から3個に増やした。来年早々に対応したい。

問 一人一人に光をあてるべき。みんな違うのだから

学校給食法のカロリー計算には対応している。

問 一人一人に光をあてるべき。みんな違うのだから

学校給食法のカロリー計算には対応している。

問 一人一人に光をあてるべき。みんな違うのだから

学校給食法のカロリー計算には対応している。

問 一人一人に光をあてるべき。みんな違うのだから

学校給食法のカロリー計算には対応している。

問 一人一人に光をあてるべき。みんな違うのだから

学校給食法のカロリー計算には対応している。

問 一人一人に光をあてるべき。みんな違うのだから

学校給食法のカロリー計算には対応している。

問 一人一人に光をあてるべき。みんな違うのだから

学校給食法のカロリー計算には対応している。

問 一人一人に光をあてるべき。みんな違うのだから

学校給食法のカロリー計算には対応している。

問 一人一人に光をあてるべき。みんな違うのだから

学校給食法のカロリー計算には対応している。

問 一人一人に光をあてるべき。みんな違うのだから



スクールランチ初日のメニュー

# 石神台JR新幹線北側緑地 自然環境を有効に生かすべきでは

答 利用の可能性はあり、皆さんからの参加を得ながら検討していく

問 石神台JR新幹線北側緑地で「シクロクロス」が行われた。この緑地、町の素晴らしい自然環境を有効に生かしていくべきでは。

町長 五洋建設株からの寄付により、今まで町が保存緑地として管理してきた土地である。利用の可能性はあり、皆さんからの参加を得ながら検討していく。

問 「シクロクロス」とはどのようなスポーツか。

答 自転車競技の一つで、障害物が設置されたコースを時間内に何周できるかを競う競技。ロードレースの選手の冬のトレーニングとして始まった。

問 「シクロクロス」の大会概要はどのようなか。

答 湘南シクロクロスと

問 石神台JR新幹線北側緑地、開成を会場に6戦ある。主催者側が許可を得た緑地内を整備し設定した。

問 この主催者とは。

答 湘南ベルマーレシクロクロス実行委員会、NP0湘南ベルマーレスポーツクラブの自転車部門。

問 大磯で開催の経緯は。

答 新たな観光の核づくりを進めている中で相談があった。

問 木の伐採等はしなかつたのか。

答 自然を壊すことなく下草刈り、倒木の片づけ等でできた。

問 民有農地は虫食状態と聞いたが。

答 民有農地が入り組んで、境界が全て確定されていないので、地権者には個別に説

明をし、了解を得た。

問 五洋建設株から寄付を受けた緑地の面積は。

答 全体で16万㎡。

問 今後の方向性は。

答 今回の主催者は今後も開催していきたい意向。緑地の活用方法は、今後も検討していく。

その他の質問

○大磯はつらつサポート事業について

問 石神台JR新幹線北側緑地、開成を会場に6戦ある。主催者側が許可を得た緑地内を整備し設定した。

問 この主催者とは。

答 湘南ベルマーレシクロクロス実行委員会、NP0湘南ベルマーレスポーツクラブの自転車部門。

問 大磯で開催の経緯は。

答 新たな観光の核づくりを進めている中で相談があった。



竹内恵美子



五洋建設株からの寄付緑地の位置図

### 恒道会で職員離職が続いている 危機感を持って情報収集すべきでは

**答** 県の監査に同行して確認し、適切な人員配置をするよう伝えたと

**問** 恒道会では職員の離職が続いている。施設しか受け皿がない人にとつて欠かせない施設である。危機感を持って情報収集をすべきではないか。  
**町長** 現状は把握している。神奈川県が実施する監査に同行し、適切な人員配置をするよう伝えた。  
**問** 職員不足で1月末にシヨートステイが中止、ケアプランも変更になったが、直前まで家族に知らせていない。未経験者も採用対象になっている。入所者へのサービスがどうなるか心配であるが。  
**答** 基準が無いので人数をクリアするしかない。  
**問** 家族は明日にでも施設を出されるのではないかと心配している。以前は行われていた催しもな

く、フロアはテレビが流れているだけのさびしい状況。家族は「町を挙げて、人として対応する」と言われた町長答弁に期待している。温かい対応をお願いしたいが。  
**町長** 確かに人の気配が少なく、寂しいところもある。町が法の中で言えることはしっかりと伝える。  
**障害者差別解消法**  
**問** まちの取組みは。  
**町長** 3市2町によるモデル協議会を設置した。行政機関による不当な扱い禁止は法的義務である。  
**問** 関係者の意見を参考に職員対応要領を作成する。  
**問** 町長との意見交換の場を皆さんが望んでいる。是非実現



恒道園



渡辺順子

してほしいが。

**答** 公な形で意見交換をしたことはなかったが実現したい。  
**その他の質問**  
○子ども貧困の対策に補助金の活用を  
○石神台の土砂災害警戒区域に設置された太陽光パネルへの対応は  
○自治基本条例見直しで町民委員会の意見は正しく反映されるか

### 大磯町の考える中学校給食について 町の考える中学生への食育とは

**答** 給食は食育にとつてまさに生きた教材であると考えている

**問** 大磯町の考える中学生への食育とは。  
**町長** 健全な食生活の実現、健全な心身の成長、伝統的な食文化への理解等、食育の理念に基づき中学校給食を進めたい。  
**教育長** 学校給食法の目標として、①適切な栄養の摂取による健康の保持増進②健全な食生活を営める判断力、食習慣を養う③学校生活を豊かにし、明るい社交性や協同の精神を養う等がある。  
「当該義務教育諸学校において学校給食が実施されるよう努めなければならぬ」という規定を基に、教育の一環として町立中学校生徒全員給食を実施。給食は食育にとつて生きた教材と考える。  
**問** 給食開始から現在ま

でのデリバリー給食のメリット、デメリットは。また、その解決策は。  
**教育長** 配膳にかかる時間が短く、学校のカリキュラムへの影響が少ない。デメリットは、おかずが冷たいこと。量の調節が難しいこと。個々の給食の量は、摂取基準に基づく量のため、生徒の要求を全て満たす過度の摂取とならぬよう、量の調整については慎重に検討を進める。冷たさは食中毒防止のためやむを得ない。  
**問** 異物混入、食中毒に対する対応は。  
**教育長** 温度管理の徹底。調理場での金属探知機使用と全ての給食を写真撮影による確認作業の強化。



玉虫志保実

**問** 業者との契約終了後の給食の方向性は。  
**教育長** 現時点では後の方針は決定していない。  
**大磯駅前自転車駐車場**  
**問** 保証期間は。  
**答** 駐輪場は2年間。植栽も2年間の保証期間。  
**問** 高齢者、電動機付き自転車利用者への対策は。  
**答** 4月の定期異動の予約をみて考えていく。

創刊号!! 食からひろがるみんなの笑顔

## 職食だより

大磯の食育情報 ●発行●平成25年5月 大磯町

**食育とは???**  
食事のバランスや食品の選び方だけでなく、食文化の伝承、食料生産、環境問題など、食に関わる全てのことについて考えたり、学んだりすることを「食育」といいます。  
町では、大磯の恵まれた自然環境と資源を十分に生かし、バランスの良い食生活を家族ぐるみ・地域ぐるみで推進して、町民一人ひとりがすくやかに、心豊かに生きるための「食べる力」を育てていくことをめざしています。

**「食べる力」ってどんなこと?**  
●自分の健康を考えて食べる力  
●マナーを守り、楽しく食べる力  
●自然環境や食料問題を考え食べる力  
●食べ物を大切に、感謝して食べる力  
●心身も健康に、いきいきと生きるために大切な力です。

めざす姿は・・・  
「食からひろがるみんなの笑顔」

**食** べる力



各地で空き家対策・定住対策が

行われているが、大磯町の考えは

答 総合的な町の指針となる

(仮称) 空き家等対策計画を作成する



三澤龍夫

問 空き家を外からの若い人に提供して人口減を減らし、若い息吹、いろいろな考え方や活動を地元呼び込めればと考えている。

市町村の責務として空き家に関する計画の策定、必要な措置を適切に講ずるよう努めなければならぬ、と定義された。

空き家対策・定住対策

昨年6月に空き家等相

談窓口を開設した。また、実際の生の声を聴くため、10月から12月には大磯市で、さらに平成25年度の神奈川県居住支援協議会空き家等実態調査のモデル地区である北本町、北下町、南本町、南下町、茶屋町にある空き家の可能性の高い物件61件の所有者に対し、アンケート調査を実施し、貸す側、借りる側双方の意見や要望を把握して空き家の適切管理が、

他市町村の事例を参考に、大磯らしさ、さらには多くの参加者が募れる事業を検討していく。大磯市実行委員会やカラフルなど民間活力を最大限に活用していく。

現在、(仮称) 空き家等対策計画の作成を行っている。空き家の利活用を推進し、特に若い世代が住みやすい環境を整備するなど、総合的な町の指針となるよう検討している。

町長 若い世代が大磯町

に未永く住んでもらうた

めに、空き家の利活用に向けた取り組みを強化したいと常に申し上げてきた。昨年「空き家対策特別措置法」が全面施行し、所有者・管理者の責務として空き家の適切管理が、

件61件の所有者に対し、アンケート調査を実施し、貸す側、借りる側双方の意見や要望を把握して



栗原匡賢副町長は

町長の期待に応えているか

答 副町長には、町民のために

職務に当たっていただいている



柴崎 茂

問 神奈川県職員であった栗原匡賢副町長は、中崎町長の期待に応えて町民生活の向上に寄与しているか。

町長 副町長には、平成

25年4月の就任以来、町民のために、その職務に当たっていただいている。問 昨年11月の議員全員協議会の席で、「誰か大磯町民と係争関係にあるか。」と副町長に聞いたとき、「山田元議長とならあるが、それは行政と一切関係ない。」と言われた。その後、山田氏に会って聞くと、行政にかかわりがあると言う。元議長と係争関係になったのは、どんな話か。

副町長 まず、お尋ねする。この事件は私と山田氏との問題で、この情報

をどこで入手したか。問 そんなのあなたに言う必要はない。山田氏から連絡があった。何か疑問か。

副町長 今、確認させて

いただいた。山田氏から情報は得たということか。それは間違いないか。私の個人的な問題で、一切その内容については答えられない。問 それは残念だ。なぜ、それを尋ねるかというと、就任されて間もないころ、自分の職務権限を越えて、

国府保育園の問題で、町民宅をたずね、「園を退園してほしい」ということをしている。当時、

大磯町副町長に対する事務委任規則

(目的)

第1条 この規則は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第167条第2項の規定に基づき、町長の権限に属する事務の一部を副町長に委任することに関して必要な事項を定めることを目的とする。

(委任事項)

第2条 町長は、法令並びに町の条例及び規則に定めるもののほか、町長の権限に属する事務の一部を副町長に委任する。

2 委任する事務は、次に定めるとおりとする。

(1) 民法(明治29年法律第89号)第108条による双方代理の禁止規定に抵触する契約行為に関する事務

(2) その他町長が必要の都度、委任する事務に関すること。



# あなたの要望はこうなりました

詳細はホームページで閲覧できます

## 採択となった陳情

## 趣旨採択となった陳情

### ◆精神障害者の交通運賃

割引制度適用を求める

意見書提出についての

陳情

陳情者は湘南あゆみ会代表、谷田川靖子氏。

国の障害者施策では、身体・知的・精神の3障害一元化が基本的な方向となっているが、精神障害者だけは交通運賃割引制度から除外されてきた。よって、国に対しその適用を求めるというもの。

3月17日の本会議において、意見書案第1号「精神障害者の交通運賃割引制度適用を求める意見書」を全会一致で可決し、国へ意見書を提出した。

### ◆平成28年度における

「療養介護施設における透析治療のあり方」

についての陳情

陳情者は、中郡腎友会会長、城所優子氏。

透析治療を受ける上で通院困難な患者が増加している。よって、透析治療が受けられる介護施設の設定に向けて予算策定の対応を求めるというもの。

### ◆平成28年度における

「慢性腎臓病（CKD）及び生活習慣病対策」

についての陳情

陳情者は、中郡腎友会会長、城所優子氏。

CKDが悪化し透析治療を受けることになると、治療費は月50万円程で、

様々な助成が必要となる。透析で苦しむ人を一人でもなくし、医療費削減につながる対策は重要である。そのため予算策定を、というもの。

## 不採択となった陳情

### ◆平成28年度における

「重度障害者医療費助成制度継続」について

の陳情

陳情者は、中郡腎友会会長、城所優子氏。

透析者は、国から自己負担軽減措置がされているが、年齢制限、所得制限により、経済的状況は厳しくなっている。よって、助成制度継続について求めるというもの。

### △不採択とした意見

大磯町でも所得制限や年齢制限を取り入れてはいるが、平成28年度予算においても障害者医療費助成制度が継続されている。

◆国に対して「消費税を中止する意見書の提出」を求める陳情書

陳情者は、消費税をなくす神奈川の会代表世話人、増本一彦氏。

### △不採択とした意見

消費税の充当先である子育て支援新制度による事業は既に進んでおり、また医療・介護費用の増加により、一般会計からの繰り入れなど、歳出に充当しているということもある。

採決の結果、採択・不採択同数となり、委員長採決とした。

## 机上配布となった陳情

### ◆軽度外傷性脳損傷・脳

しんとうの周知と、予防、その危険性や予後の相談の出来る窓口などの設置を求める陳情書

## 議員研修会 公共施設のマネジメント



3月22日、ジャパンシステム株式会社公共事業本部の松村俊英氏を講師に招き、議員研修会を行った。松村講師からは、公共施設の老朽化対策、管理計画の流れ等、大磯町の各公共施設と神奈川県内の市町村の施設状況と比較しながら、わかりやすく解説いただいた。

また、公共施設総合管理における財産分析の面から施設のマネジメントの流れ等を学んだ。

執行部側も出席し、平成28年度中に策定を予定する「大磯町公共施設基本計画策定」に向け、これからの議論に生かせる研修となった。

## 陳情・請願

町政などへ意見や要望があるときは、誰でも陳情書や請願書（議員の紹介が必要）を議会に提出することができます。

詳しくは議会事務局にお問い合わせください。

☎ 61-4100（内線281）

提出の締め切り  
（6月定例会分）  
5月24日（火）  
午後5時まで

## 「特別表彰」を受ける

本町議会は、2月5日、全国町村議会議長会の実施する平成27年度町村議会表彰において、「特別表彰」を受けた。

これは平成26年12月に、「大磯町省エネルギー及び再生可能エネルギー利用の推進に関する条例」を議員提案し、全会一致で可決した実績など、他の模範となる議会運営が評価につながったものである。

受賞を受けて吉川重雄議長は、「過去から積み重ねてきた努力の賜物。今後とも開かれた議会を目指し、町民にとって身近な議会を議員一丸となつてつくって行きたい」と話した。

※「特別表彰」は本町議会のほか1町が、「表彰」は25町村が全国の町村の中から受賞した。本町議会は平成19年度に「表彰」を受賞している。



5月30日(月)には、全国町村議会議長会主催の正副議長研修において、特別表彰2町の議長が「わが町の議会活性化への取り組み」をテーマに、講演を行う。

## 常任委員会行政視察報告

2つの常任委員会では設定したテーマに基づき、このたび先進地の調査・研究を行った。

### 総務建設常任委員会

大磯町リサイクルセンターの施設整備に向け、町が予定しているDBO方式で建設・運営されている、徳島県阿南市ごみ処理施設「エコパーク阿南」と、農業の6次産業化を実施している2法人を視察した。

#### ▼徳島県阿南市

「エコパーク阿南」は平成26年3月に竣工し、高効率ごみ発電施設、またリサイクルセンターとして資源ごみ、不燃・粗大ごみ処理施設を併設する施設である。敷地内の外灯は太陽光・風力発電でまかなわれており、埃などの発生を防ぐ等、周



エコパーク阿南 (徳島県阿南市)

### 福祉文教常任委員会

認知症支援施策について、他自治体に先駆け「認知症ケアパス」を作成している愛知県東郷町、また地域包括ケアシステムの構築を目指す愛知県豊明市を訪問した。

#### ▼愛知県東郷町

人口約4万3千人、トヨタ自動車を初め中京地区の経済活動の好況さに支えられ活気のある町。「認知症ケアパス」について、認知症の進行状況に合わせての医療・介護サービスの紹介等、細部にわたっており、きめの細かい内容、医療との連携も考えられていた。

今年度より、大磯町の(仮称)リサイクルセンターも本格的に着工するので、視察内容や、他例を参考にしながら注意深く工事の経過を見つめていく。

#### 農業の6次産業化

有丸浅苑(しいたけ)年間200トンの出荷、及び加工食品の販売。(株)マルハ物産(レンコン)レンコン等の加工食品の製造販売。

#### ▼愛知県豊明市

人口約6万8千人、名古屋市のベッドタウンとして急速に発展した市医療や介護資源(藤田保健衛生大学病

院)に恵まれ、地域包括ケアシステムの構築が進められている。

大病院の協力により、保険、医療の拠点として「まちかど保健室」などを開設し、地域に根差した展開も図られていた。

平成26年4月〜29年3月まで愛知県地域包括ケアモデル事業となっている。今後、東郷町、豊明市の医療と介護の連携についての取り組みについて研究していきたい。本町にも、東海大学大磯病院の存在があり、今後の参考にしたい。



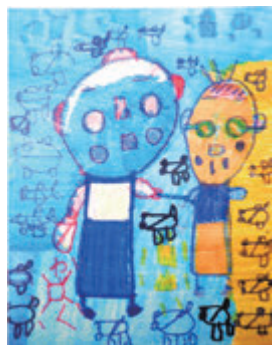
まちかど保健室 (愛知県豊明市)



今号は、虫窪の社会福祉法人素心会の皆さんの作品をお届けします。

芸術に力を注ぐ素心会では、年1回開催の作品展の他に、全国に向けて作品を出展しています。

絵画作品以外では、陶芸や手芸などの作品作りにも取り組んでいます。



社会福祉法人素心会

## 議会報告会へぜひご参加ください

少人数に分かれての意見交換等も行います。

5月14日(土)

10:00~11:30 国府支所2階会議室

15:00~16:30 保健センター2階研修室



※当日はこの『議会だより』をお持ちください。

## 議会スナップ



3月7日 予算特別委員会

## 6月定例会

- |    |        |        |
|----|--------|--------|
| 6月 | 3日(金)  | 議案上程等  |
|    | 13日(月) | 一般質問   |
|    | 14日(火) | 一般質問   |
|    | 17日(金) | 委員長報告等 |

湘南ケーブルテレビにて放映  
地上デジタルSCN113チャンネル  
生放送9時~、再放送は19時~

## 表紙の題字を募集!!

これまでの題字『大磯』は吉田茂氏自筆のもので、読めないといった意見もいただいていた。漢字、ひらがな、アルファベット等、そのデザイン含め、皆様のご応募をお待ちしています!!

※応募期限は5月31日(火)。詳細は議会事務局へお問い合わせください。デザインの著作権は、大磯町議会に帰属となります。

※今号の表紙は、第1号(昭和51年7月10日発行)のものです。

## 【編集後記】

議会報告会の町民の意見を元に、平成28年度より、予算審査を深めるための現地確認を行いました。

議会として、平成26年12月に「大磯町省エネルギー及び再生可能エネルギー利用の推進に関する条例」を議員提案し、県内初の特別表彰を受賞しました。

詳しい内容につきましては、5月に議会報告会を開催しますので、是非ご参加ください。

## 議会だより編集委員

- |        |       |
|--------|-------|
| 委員長    | 渡辺 順子 |
| 副委員長   | 清田 文雄 |
| 委員     | 竹内恵美子 |
|        | 二宮加寿子 |
|        | 玉虫志保実 |
|        | 高橋 英俊 |
| オブザーバー |       |
| 議長     | 吉川 重雄 |
| 副議長    | 坂田よう子 |